

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

1	所管室課	総務予防室	事業名	消防総務事業		
事業概要						
消防総務、消防職員教育・訓練充実						
活動実績						
【消防総務】 庁舎設備等の保守点検、光熱水費、感染症予防のための各種予防接種、職員の健康診断及び採用試験等の消防・救急体制を維持するために予算を執行した。		年度 決算額 (千円)	R2 138,155	R3 145,374	R4 178,997	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、効率化、コスト削減等に努める。
【消防職員教育・訓練充実】 多種多様な災害現場等に対応するため、必要な研修や教養への派遣を実施し、スキルアップを図った。 消防大学校、大阪府立消防学校、大阪市消防局高度専門教育訓練センター等に延べ69名派遣した。 コンプライアンス研修を実施し、法令遵守や社会的規範の重要性を学ぶことで、倫理意識の向上を図った。 外部講師を招き、女性活躍推進研修を実施した。		一般財源の比率(%)	93.3	93.3	94.1	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 安心安全なまちづくりのために、必要な資格を継続的に取得し、消防・救急体制を維持するため、継続的に推進していく必要がある。 また、内部管理の事業が多く数値化しにくいところが多いが、効率化、コスト削減等を意識しながら事業を進める必要がある。						

2	所管室課	総務予防室	事業名	消防団運営事業		
事業概要						
消防団運営						
活動実績						
【消防団運営事業補助金の交付】 団本部、各分団、班の消防団の運営にかかる補助対象事業に対し、補助金を交付した。 【消防団 出動件数】 火災出動 108件、訓練出動 292件、警戒出動 197件 【消防団員の処遇改善】 吹田市消防団条例を改正し、令和4年4月1日から各種報酬額を増額したことで処遇改善を図った。 【女性消防団員の入団】 消防団幹部との協議を図り、令和4年4月1日から女性消防団員を初めて採用した。 女性消防団員入団実績 5名(令和4年度中) 【消防団員の入団促進】 市広報課と連携し、消防団PR動画を作成するなど本市消防団の魅力を伝え、消防団への入団を促進した。 消防団員入団実績 11名(令和4年度中)		年度 決算額 (千円)	R2 37,628	R3 43,076	R4 50,488	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、消防団への加入促進のため、広報活動に努める。
		一般財源の比率(%)	95.3	90.3	93.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 近年は少子高齢化に伴う若年層の減少、就業構造の変化、地域奉仕精神の希薄化などにより、消防団員の減少に歯止めがかからず、社会問題となっている。今後はこれまで以上に消防団員の処遇面等を改善するとともに、消防団への加入を促進して、消防力の向上に努める。 また、全国的に多発している大規模な自然災害に対応すべく、消防団装備の充実強化を図る必要がある。						

3	所管室課	総務予防室	事業名	消防庁舎等管理事業		
事業概要						
消防庁舎等管理						
活動実績						
南消防署南正雀出張所建設工事 南消防署南正雀出張所建設工事設計委託業務 南消防署南正雀出張所建設工事監理業務 (仮称)北消防署北千里出張所建設ほか工事設計業務 中消防庁舎及び千一分団詰所石綿分析調査業務 吹二分団詰所耐震診断委託業務 消防本部・西消防署合同庁舎小貨物専用昇降機修繕業務 消防本部・西消防署合同庁舎空調室外機圧縮機修繕業務 消防本部・西消防署合同庁舎空調設備ファンコイル修繕業務		年度 決算額 (千円)	R2 198,664	R3 38,104	R4 85,123	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 消防庁舎の維持管理のため、引き続き実施していくよう努める。
		一般財源の比率(%)	54.7	73.1	80.8	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害対応拠点である消防庁舎の維持管理のために、必要最低限の補修を実施しており今後も継続し実施していく必要がある。 大規模改修については、消防施設という特性上、使用を継続しながらの工事となるため、工事期間が長くなるとともに費用面で効率性に課題がある。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

4	所管室課	総務予防室	事業名	北部消防庁舎等複合施設建設事業（消防庁舎）	
事業概要					
北部消防庁舎等複合施設建設（消防庁舎）					
活動実績					
【北部消防庁舎等複合施設建設工事】 令和3年度から令和6年度にかけて、北消防署、中消防庁舎、教育センター及び土木部庁舎等の各機能を集約した建設工事を行っている。  【北部消防庁舎等複合施設建設工事監理業務】 令和3年度から令和6年度にかけて、北部消防庁舎等複合施設建設工事の監理業務を行っている。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、事業を着実に進める。
	決算額（千円）	238,819	327,441	623,667	
	一般財源の比率（%）	9.8	14.4	0.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害時の重要な役割を果たす施設として早急な整備が必要であるため、着実に事業を進めていかなければならない。 現状の署所配置では、南千里地域が消防力の弱い地域の一つであることから、北部消防庁舎等複合施設の整備を行い、千里ニュータウンをはじめ、市内消防力の強化をはかる必要がある。					

5	所管室課	総務予防室	事業名	予防事業	
事業概要					
防火意識普及啓発、予防査察・自主防火管理充実、自主防火組織育成強化					
活動実績					
【防火作品（図画・標語）の募集】市内の小・中学校の児童・生徒から募集する。 令和4年度防火作品応募数 防火図画 372作品 防火標語 239作品 【住宅防火訪問】春と秋の火災予防運動週間に合わせ住宅防火訪問を実施している。 また、併せて住宅用火災警報器の設置率の調査を行っている。 令和4年度住宅防火訪問世帯数 2,800世帯 令和4年度住宅用火災警報器の設置率 87.6% 【消防音楽隊】地域に根差した身近な公的音楽隊として、防火防災に係る広報や演奏を通じて広く市民に防火思想の普及を図る。※令和4年度消防音楽隊 隊員数 27名 演奏実績 5回 【予防査察】防火対象物数 10,946 危険物施設数 257 高圧ガス施設数 310（各施設数は、令和4年度未現在）の全施設を3年に1回というサイクルで定期的に立入検査を実施し、関係者の自主防火管理意識の高揚を促す。※令和4年度査察実績 3,783件 【吹田市家庭防火クラブ】 家庭からの火災発生を防止するために知識及び初期消火方法等の技術の習得や研修会を実施。※令和4年度 家庭防火クラブ会員数等 30クラブ 会員数 308名 【幼年消防クラブ】各種の行事において防火思想の普及啓発と火育を通して安心安全な都市（まち）づくりに寄与することを目的として結成されたもの。 令和4年度幼年消防クラブ会員数等 34クラブ 6,808名	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、火災予防事業の継続に努める。
	決算額（千円）	1,894	2,345	12,122	
	一般財源の比率（%）	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 住宅防火訪問等を通して防火意識の普及と火災予防の推進を図る。 繰り返し各施設への査察を実施し、現地指導の充実と自主防火管理体制の確立を図り、事故がない状況を継続していく。 家庭防火クラブは火災予防の知識と消火器の取扱い技術の習得や研修会を通じて隣協体制と連帯意識の高揚を図る。幼年消防クラブは、幼年期から火災に対する正しい知識を身につけて火遊びによる事故の防止と防火意識の教育・普及を図る。					

6	所管室課	警防救急室	事業名	救急事業	
事業概要					
救急活動、救急救命士資格取得推進、高規格救急自動車等資器材整備、応急手当普及啓発、救急業務体制整備					
活動実績					
【救急活動】 令和4年中 救急出動件数 21,529件 救急搬送者数 18,381名  【救急救命士資格取得推進】 救命士養成課程派遣人数 令和4年度 5名  【高規格救急自動車等資器材整備】 救急車更新に伴う資器材整備及び維持管理目的での保守点検など。  【応急手当普及啓発】 救命講習受講者数 令和4年度 6,171人  【救急業務体制整備】 検証会議 年12回、症例検討会 年2回、近畿救急医学研究会などの職員派遣。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 応急手当普及啓発活動の評価、検証を実施。
	決算額（千円）	25,992	24,388	24,902	
	一般財源の比率（%）	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 感染対策資器材の使用数増加及び救急出動件数の増加対応のため、消耗品購入費の削減は実施困難である。 新型コロナウイルス感染症感染拡大状況により、対面式救命講習の中止に伴い、受講者数が減少しており、受講手段の選択肢の幅を広げる必要がある。また、本市の公共施設では、市職員の誰もがAEDの使用方法を知っておく必要があるが、救命講習の受講ができておらず、職員の救命スキルの低下が懸念されるため、短時間で効果的な救命講習を実施する必要がある。					

## 上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

7	所管室課	警防救急室	事業名	救助事業	
事業概要					
救助活動、救助資器材等整備					
活動実績					
火災や救助等の通常災害に加え、CBRNE（C＝化学 B＝生物 R＝放射性物質 N＝核 E＝爆発）・テロ等の特殊災害、豪雨などによる土砂災害、地震をはじめとする大規模自然災害等から要救助者を安全・確実・迅速に救助するため、各種救助資器材の取扱いや救助技術を練磨するとともに、救助活動に対する幅広い知識と高度な技術を習得するために必要とされる専門的な教育による資格の取得や各種研修への参加を実施した。 また、災害現場における救助活動に必要な資器材の整備を実施した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き事業を着実に進める。
	決算額(千円)	6,281	4,938	12,317	
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	99.9	
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害の多様化に伴い、救助資器材の更新、充実強化に今後さらなる予算が必要になる可能性がある。				

8	所管室課	警防救急室	事業名	警防事業	
事業概要					
警備活動、消防車両整備、消防装備品整備					
活動実績					
法令や指針等に定められた機器の点検整備、資格の習得等、適切に警防活動が実施できるよう計画実施し、迅速な対応が求められる消防業務に支障をきたすことなく、常に適切な消防力を維持した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き予算編成と連携させ消防力の維持に努める。
	決算額(千円)	73,567	122,140	114,823	
	一般財源の比率(%)	99.4	99.6	51.6	
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 多種多様な災害対応に向けた訓練・研修等により、職員の知識と技術向上を図る。 国の安全管理体制の見直しや消防行政へのニーズに対応するべく、限られた財源の中で必要な装備品を整備している。 消防車両は特殊塗装が施されており、修理が必要な場合は費用が高額となるため、今後も予算編成と連携させ消防力の維持に努める。				

9	所管室課	警防救急室	事業名	消防車両更新事業	
事業概要					
消防車両更新					
活動実績					
(消防車両更新) 車両更新計画に基づき、更新対象車両24台の内5台を更新した。 (令和4年度更新車両 救急車1台、司令車1台、小型タンク車2台、ポンプ車1台)	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き消防力の充実のため車両更新に努める。
	決算額(千円)	107,685	217,382	163,803	
	一般財源の比率(%)	35.6	30.6	32.6	
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 近年は新型コロナウイルス感染症拡大、戦争、排ガス規制及び車両安全装置の義務化等の影響により、積装車両の確保が困難となっているため、より早期の準備が必要であり、複数年度での車両更新となる懸念がある。 未更新車両については、故障や修理等の増加による警防事業への影響も懸念されるため、国の補助事業も活用しながら、今後も引き続き適切な車両更新に努める。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	213	施策	消防・救急救命体制の充実
管理事業	消防事業	所管部局	消防本部

10	所管室課	警防救急室	事業名	消防防災施設等整備事業		
事業概要						
防火水槽整備、可搬式小型動力ポンプ整備						
活動実績						
【耐震性防火水槽整備事業】 令和4年度：ひらと遊園に40㎡1基及び榎大池公園に100㎡1基を設置した。 【可搬式小型動力ポンプ整備事業】 令和4年度：榎大池公園内に1台整備した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き事業を着実に進める。
		決算額(千円)	1,738	1,758	62,361	
		一般財源の比率(%)	48.2	48.8	2.2	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 両事業ともに、各地域における有用性を必要とする一方で、設置には一定の公共的スペースを必要としており、設置場所の確保及び設置方法を検討する必要があるため、計画どおりの進捗が難しい場合がある。						

11	所管室課	指令情報室	事業名	指令調査事業		
事業概要						
指令調査、救急安心センター運営、消防通信指令事務共同運用						
活動実績						
【出動実績】 指揮支援隊、調査隊あわせて180件の出動実績がある。(出動報告書の件数による)		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き事業を着実に進める。
		決算額(千円)	86,960	93,994	126,946	
		一般財源の比率(%)	71.6	74.0	51.5	
【救急安心センターの利用実績】 府下全体の利用件数 317,498件 吹田市内からの利用件数 13,152件		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 消防通信指令事務共同運用事業では摂津市と共同運用することで費用面の節減効果を目指すとともに、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を図っていますが反面、機器の年数経過とともに保守費用等の節減が課題となっている。救急安心センター運営事業では事業参画前と比べ指令センターへの直接相談も激減しており、一定の効果が見られる。今後も救急車の適正利用等を踏まえ、救急安心センターを広く市民へ広報していく必要がある。				
【消防通信指令事務共同運用事業】 吹田市・摂津市合わせて36,716件の119番通報を受信し30,289件の災害対応等を行った。 (内訳) 吹田市 摂津市 両市計 119受信件数 29,518件 7,198件 36,716件 災害発生件数 吹田市 摂津市 両市計 火災 39件 20件 59件 救助 312件 71件 383件 警戒 1,978件 567件 2,545件 救急 21,529件 5,773件 27,302件 合計 23,858件 6,431件 30,289件						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名